

保護者の皆様へ

愛西市立草平小学校
校長 小島 美保

令和3年度学校評価の結果について

早春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、12月に実施しました学校評価（保護者アンケート）の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。ご多用の中、ご協力いただきありがとうございました。

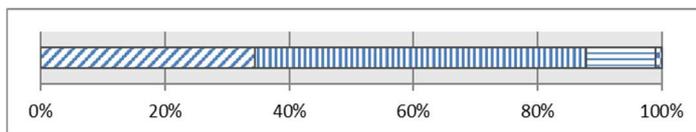
このアンケート結果を十分に検討し、次年度の学校経営に生かしたいと思っております。今後もさらに学校教育の充実に努めていきます。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

記

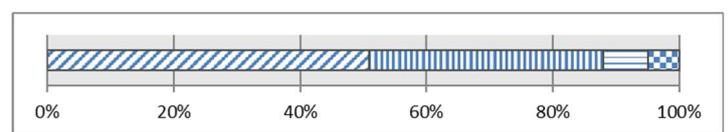
各設問には、4：そう思う 3：少しそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない
で回答していただきました。（回答数226）

Q1：教職員は、児童を十分に理解し、あたたかい雰囲気の中で学級を運営している。

< R2年度 >



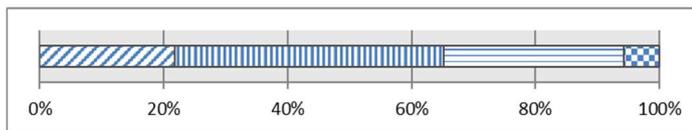
< R3年度 >



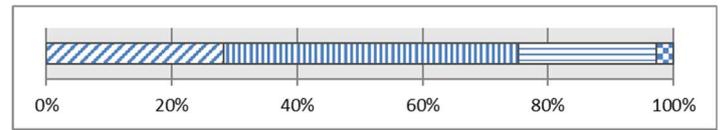
回答4と3が、88%を占めました。教職員の児童理解や学級経営について肯定的に受け止めていただいている方が多いことが分かりました。一方、回答1が昨年度より増えました。児童一人一人の様子をしっかりと見取り、どの児童にとっても居心地のよい学校・学級づくりに努めていきたいと考えます。

Q2：児童は、家庭学習によく取り組んでいる。

< R2年度 >



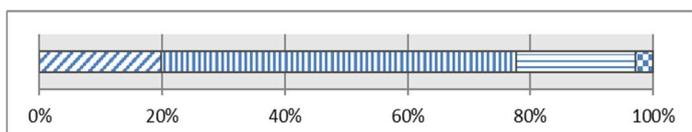
< R3年度 >



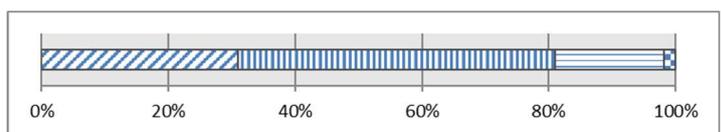
回答4と3が75%を占め、昨年度より10%程度改善しました。11月から、毎週月曜日の家庭学習には、持ち帰ったiPadを活用した課題を取り入れています。家庭での学習に主体的に取り組むことができるよう、引き続き、課題の出し方や取り組ませ方を工夫していきたいと考えます。

Q3：児童は日々の学習内容をよく理解している。

< R2年度 >



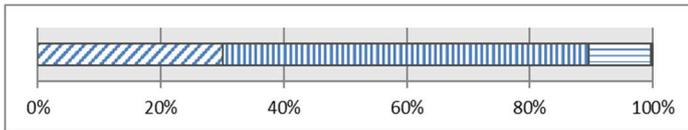
< R3年度 >



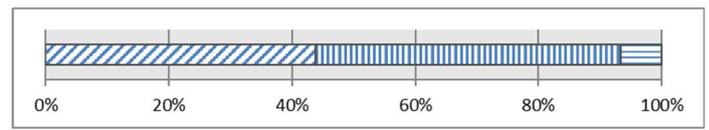
回答4と3が81%を占めました。学習のさまざまな場面でICT機器を積極的に活用することで児童の学習への意欲が高まったことや、それぞれの児童に必要な学習課題を提示することができた成果だと考えます。今後も、より効果的にICT機器を活用できるよう継続的に授業改善に取り組み、児童の主体性を伸ばしていきます。

Q 4 : 児童は、家庭や地域の生活の中で、規則を守って生活している。

< R 2 年度 >



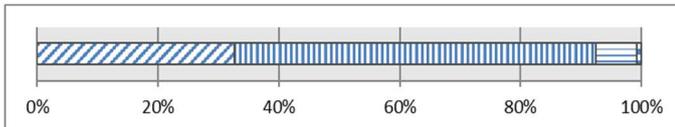
< R 3 年度 >



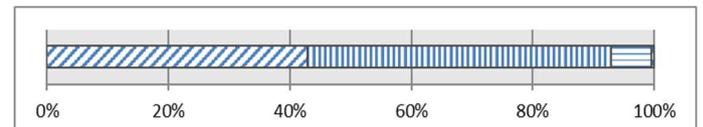
回答 4 と 3 が 9 3 % を占め、昨年度に引き続き、多くの児童が家庭や地域の生活で規則を守って生活していることが分かりました。正しく判断したり行動したりする態度が育っていることを大変うれしく思います。

Q 5 : 児童に思いやりの心が育っている。

< R 2 年度 >



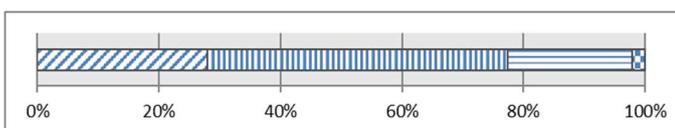
< R 3 年度 >



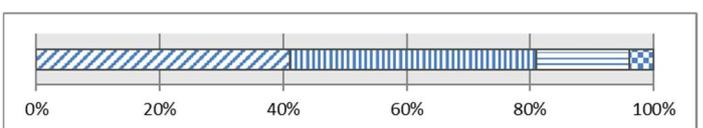
回答 4 と 3 が 9 2 % を占めました。思いやりの心が育っている児童が多いことが分かりました。引き続き、相手の気持ちを考え、思いやりある言葉がけや行動を大切にしたい学級・学校経営や授業作りに努めていきます。

Q 6 : 教職員は、児童を十分に理解し、児童も教職員を信頼している。

< R 2 年度 >



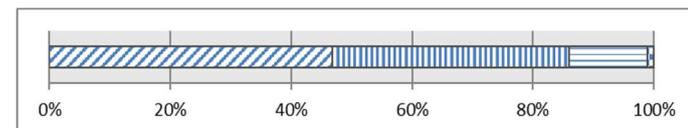
< R 3 年度 >



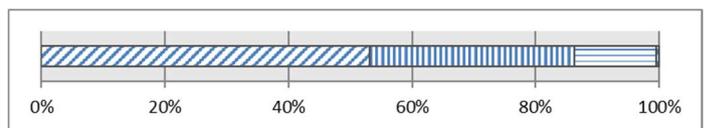
回答 4 と 3 が 8 0 % を占め、昨年度より 3 % 程度改善しました。引き続き、学習指導・生活指導の両面において、児童一人一人の声に耳を傾け、話をよく聞いたり、生活アンケート後の面談を丁寧に実施したりしていきたいと考えます。

Q 7 : 児童は体育的活動の時間を楽しみにし、励みにしている。

< R 2 年度 >



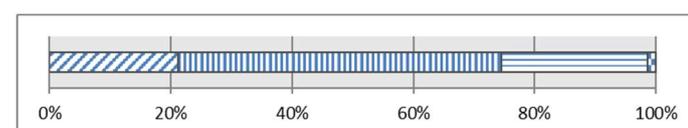
< R 3 年度 >



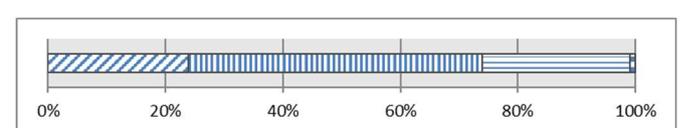
回答 4 と 3 が 8 6 % を占めました。体育の授業や運動ができる時間を楽しみにしている児童が多いことが分かりました。また、本年度は、2年ぶりに運動会を開催することができ、児童が力一杯、演技したり競技に参加したりする姿が見られました。一人一人が自分の課題を達成するために、工夫して練習に取り組める体育の授業作りに引き続き取り組んでいきます。

Q 8 : 児童は自分の体力向上に向けて意欲的に取り組んでいる。

< R 2 年度 >



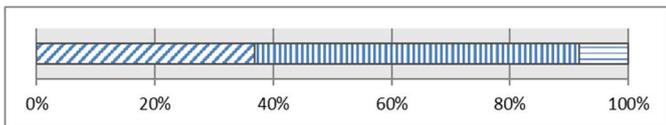
< R 3 年度 >



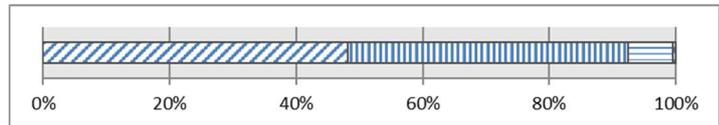
回答 4 と 3 が 7 3 % を占めました。草平体幹トレーニングをはじめて 3 年目を迎え、児童が、毎日の日課として自然に取り組んでいる様子が見られます。草平体幹トレーニングを始め、各種運動を学校生活だけでなく日常生活に取り入れ、体力向上を目指すことができる児童を育てていきたいと考えます。

Q 9 : 登下校や帰宅後の安全に対して、児童の意識は高まっている。

< R 2 年度 >



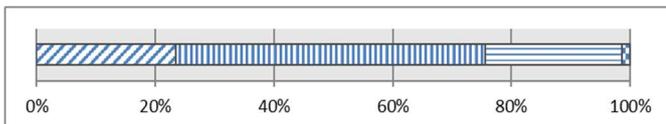
< R 3 年度 >



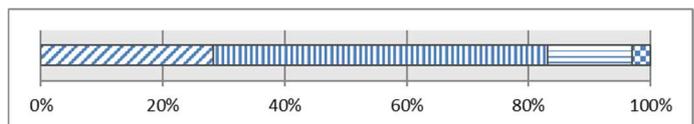
回答4と3が92%を占めました。多くの児童に安全に登下校したり生活したりしようとする意識が育っていることが分かりました。本年度は、12月に、JAF主催の交通安全教室をWeb会議の機能を活用して視聴しました。安全に過ごすための具体的な方法について学ぶ機会を今後も設けていきます。

Q 10 : 学校は、児童の安全に対して、地域や家庭と連携してよく取り組んでいる。

< R 2 年度 >



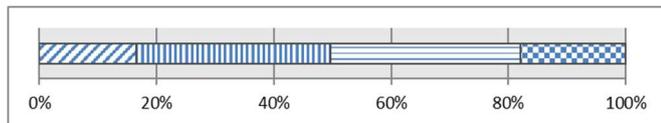
< R 3 年度 >



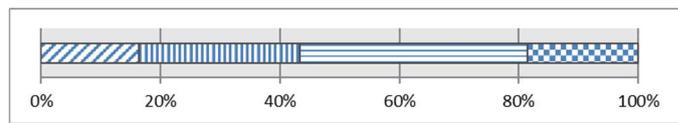
回答4と3が83%を占め、昨年度より7%程度改善しました。交通安全協会の皆さんや交通指導員さん、学校のふれあい委員さんとも協力して引き続き登下校時の見守りを行ったり、通学団での問題に迅速に対応したりしていきたいと考えます。地域の皆さんや保護者の皆さんのご協力に感謝いたします。

Q 11 : 児童は、読書に親しんでいる。

< R 2 年度 >



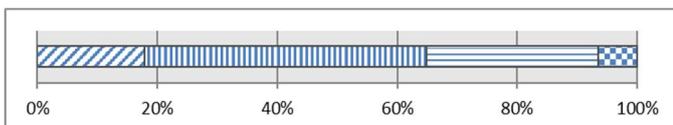
< R 3 年度 >



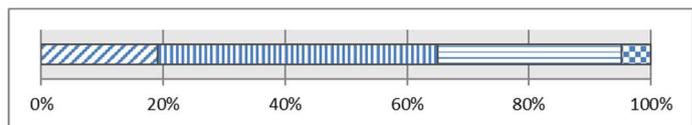
回答4と3が43%を占め、昨年度より7%程度下がりました。児童の読書離れが進んでいる実態がうかがえます。一方、豊かな読書経験を通して得られる知識や読解力の向上は、学力向上のためにとっても大切です。毎日の生活で、読書に親しむ時間を保障する手だてを工夫していきたいと考えます。

Q 12 : 児童は、自分の思いをことばで上手に伝えることができる。

< R 2 年度 >



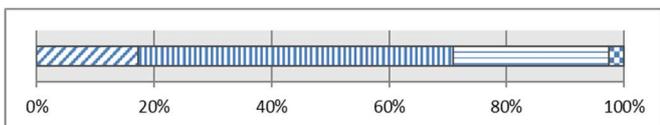
< R 3 年度 >



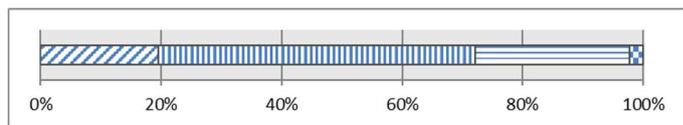
回答4と3が65%を占めました。コロナ禍のため、10月頃まで授業中の話し合い活動が制限されていましたが、11月・12月は、児童が自分の考えを友達や教師と交流させる活動を徐々に再開してきました。引き続き、考えや思っていることをことばで伝える力を高めていきたいと考えます。

Q 13 : 学校の施設は充実していて、環境も整っている。

< R 2 年度 >



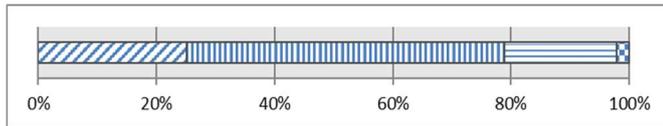
< R 3 年度 >



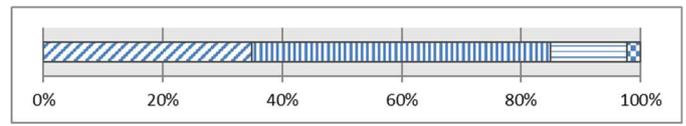
回答4と3が72%を占めました。本年度は、児童一人に一台のiPadの支給が実現し、GIGAスクール構想が一気に推し進められました。校舎内の雨漏りが見られる天井の修繕や、運動場の遊具のペンキの塗り替えを行いました。引き続き、児童が安全に楽しく過ごせる環境整備に努めていきます。

Q14：各種のたよりやホームページは学校の様子をよく伝えている。

< R2年度 >



< R3年度 >



回答4と3が86%を占め、昨年度と比べ、7%程度改善しました。本年度から、ホームページに各学年の記事を掲載し、学級や学年の様子をより分かりやすくお伝えできるように工夫しています。引き続き、学校の様子について保護者や地域の皆様に、適時、情報発信ができるように努めていきます。

<まとめ>

本年度は、新学習指導要領のねらいや、コロナ禍の新しい生活様式、そして、教職員の働き方改革を反映させた教育活動を実践してきました。タブレット学習の導入や、換気・手洗いの徹底、運動会の半日開催や学習成果発表会の開催などです。一方、変わらず大切にしていきたいことは、児童一人一人を大切にした学級・学校経営、学力の保障、そして、保護者や地域の方々との信頼関係です。

本年度、保護者の皆様から「改善している」と評価をいただいた教育活動については引き続き努力を怠らず、「改善が必要である」と評価をいただいた教育活動についてはその方法を見直し、来年度につなげていきたいと考えます。引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。